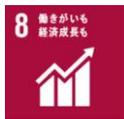


普及現地情報

発信年月日:令和7年(2025年)12月22日
所属名:高島農産普及課
番号:H25029
発信者名:三溝



「今津柿直売会」の初開催を支援！

12月14日に今津町柿部会(以下、部会)は、高島市今津総合運動公園スパーク今津で、生産者が一堂に会して直接販売する直売会を産地として初めて開催しました。「富有」柿を中心とした部会員の柿や加工品が販売され、来場者は270名を超え好評を博しました。

高島市今津町深清水地域は、大正初期に「富有」柿の栽培が始まった歴史のある県内最大規模の柿産地で、33名の部会員が約20haで栽培しています。しかし、栽培面積の約7割を占める品種「富有」は近年の猛暑の影響で収穫時期が遅れており、収穫最盛期である12月上旬になると、市場価格の低迷や消費者離れがみられました。また、部会として販売に関して取り組んだことは近年なく、産地としての認知度も高くありませんでした。

そこで、当課は部会に対して、産地の魅力や「富有」柿の旬が12月であることを広く周知するため、「直売会」を開催することを提案しました。さらに開催までには部会員と何度も協議を重ね、地域の方も巻き込みながら進めていきました。

その結果、12月14日当日は生産者17名、ご家族や地域の方、大学生など21名、関係機関3名の合計41名で開催することができました。約270人を超える来場者は、生産者と直接対話しながら「富有」柿などを購入され、満足されているようでした。また、生産者も初めての開催で不安が大きかったものの、「開催して良かった。来年はもっとお客様に楽しんでもらえるよう工夫したい」など次年度開催に向けて前向きな意見が多く出ました。

当課は引き続き、産地の活性化や人を呼び込む取組を支援してまいります。



直売会の様子